

夢  
工房

# 陰圧ユニット・エアコン標準装備 セフティエアーテント開発

## 病院に寄贈、PCR検査場などに活用

セフティエアーテント



㈱夢工房（大阪府松原市、金井豊季社長）は、同社が開発・展開する医療用陰圧テント「セフティエアーテント」を、大阪府下の市立病院に寄贈、2月25日（木）に設置した。同病院にはすでに他社のエアは防炎素材を使用、燃え広がりがなく、小規模で陰圧システムが設置されているが、今回設置のセフティエアーテントは、全面2重構造で、膜の厚みも0×D7000×H2800mmの28㎡と大規模さを低減、さ

で、陰圧システム・エアコンも完備する。より安全で環境の良い空間で、多くのPCR検査が可能である。内部はD2000の前室とD500の

ム・エアコンも完備する。より安全で環境の良い空間で、多くのPCR検査が可能である。内部はD2000の前室とD500の

密着性が良く気密性も高い。屋根面はR型なので、雨水がたまらない設置は、ブローアで空気を入れて約5〜6分で完成、排気口が3カ所あるため、撤去時も簡単に空気を排出できる。ブローアは充電式で電源は不要である。軽量・



陰圧ユニット・エアコンを標準装備

コンパクト設計の陰圧ユニットと移動式エアコン、ラフ型LED照明を標準装備する。同社では、病室・避難場所などで感染を防ぐ簡易折り畳み式陰圧テント「セフティオールディングテント」をすでに開発、販売を開始する予定である。